

salesforce

Einstein 活動キャプチャセ キュリティガイド

Salesforce, Spring '24



 @salesforcedocs

最終更新日: 2024/01/02

本書の英語版と翻訳版で相違がある場合は英語版を優先するものとします。


© Copyright 2000–2024 Salesforce, Inc. All rights reserved. Salesforce およびその他の名称や商標は、Salesforce, Inc. の登録商標です。本ドキュメントに記載されたその他の商標は、各社に所有権があります。

目次

Einstein 活動キャプチャ	1
Einstein 活動キャプチャのシステム要件	3
アクセスと認証	5
Microsoft Exchange サーバーで Einstein 活動キャプチャを使用する場合のネット ワークアクセスの許可	6
Exchange Web サービス (EWS) と API	8
Einstein 活動キャプチャのデータフロー	9
データの保存方法と使用方法	10
暗号化	13
データプライバシー	14
データの保存と保持	16

Einstein 活動キャプチャ

Einstein 活動キャプチャは、Salesforce とメールおよびカレンダーアプリケーション間のデータを最新の状態に保つのに役立つ生産性向上ツールです。

 **メモ:** 2023 年後半より、既存の Einstein 活動キャプチャ (EAC) のサービスとデータは Hyperforce に移行されます。Hyperforce は、パブリッククラウド用に構築された Salesforce クラウドネイティブインフラストラクチャアーキテクチャです。移行前は、一部の EAC のサービスとデータはドイツまたは米国の Salesforce が管理するデータセンターに保存され、仮想プライベートクラウド (VPC) の背後にある Amazon Web Services (AWS) でホストされます。移行後は、EAC のサービスとデータは Hyperforce 上に構築され、同じ地域内の新しい AWS のパブリッククラウドインフラストラクチャに保存されます。

アプリケーション間のデータを最新に保つために、Einstein 活動キャプチャではメール、行動、取引先責任者の 3 種類のデータに焦点が絞られます。

Einstein 活動キャプチャには、手動で Salesforce に追加された営業活動と Einstein 活動キャプチャによって追加された営業活動をまとめるためのツールも含まれています。Activities ダッシュボードでは、さまざまなグラフや検索条件によってデータが分類されます。活動総計値を使用すれば、トリガーやリストビューなどの Salesforce プラットフォーム機能で活動データを使用できます。

Salesforce のドキュメントでは、キャプチャという用語は、接続済みの Microsoft アカウントや Google アカウントからデータが収集され、Hyperforce で保持されて、仮想レコードを作成することを指します。キャプチャされたデータはプライマリ Salesforce データベースに保存されず、照会できる Salesforce レコードの作成には使用されません。たとえば、キャプチャしたデータは関連する Salesforce レコードのタイムラインでインサイトとエンゲージメントの詳細の生成に使用されます。

設定手順、制限事項、機能の詳細などの完全な情報は、Salesforce ヘルプの「[Einstein 活動キャプチャ](#)」を参照してください。

Einstein 活動キャプチャのシステム要件

Einstein 活動キャプチャを設定する前に、Google Workspace アカウントまたは Microsoft® Exchange ベースのサーバーがシステム要件を満たしていることを確認します。

すべての接続方法で OAuth 2.0 プロトコルを使用して、ユーザーのメールサービスからデータを取得することが承認されます。

Google

Google Workspace から作業している会社では、ユーザーレベルおよびサービスアカウントでの接続方法が使用可能です。Einstein 活動キャプチャでは、Google Workspace の Basic エディション、Business エディション、Enterprise エディションがサポートされています。

Office 365 と連携する Microsoft Exchange Online

Office 365 と連携する Microsoft Exchange Online から作業している会社では、ユーザーレベル、組織レベル、およびサービスアカウントでの接続方法が使用可能です。Exchange を Salesforce に接続する前に、Exchange システム管理者と連携し、SSL 接続上で Exchange Web Services (EWS) を有効にします。

Einstein 活動キャプチャでは、Microsoft Azure のグローバルインフラストラクチャクラウドでホストされる Office 365 テナントのみがサポートされます。Azure のナショナルクラウドとガバメントクラウドはサポートされません。

Microsoft Exchange 2019、2016、または 2013

Microsoft Exchange 2019、2016、または 2013 から作業している会社では、ユーザーレベルおよびサービスアカウントでの接続方法が使用可能です。

Exchange を Salesforce に接続する前に、Exchange システム管理者と連携し、SSL 接続上で Exchange Web Services (EWS) を有効にして、**必要なネットワークアクセスを許可**します。サーバーで基本認証要求がサポートされていることを確認します。

Microsoft Exchange のハイブリッド展開

Microsoft Exchange Online と Microsoft Exchange オンプレミスサーバーの組み合わせから作業している会社の場合、Einstein 活動キャプチャでサポートされるのは**キャプチャ機能**のユーザーレベルの接続のみです。

アクセスと認証


Einstein 活動キャプチャのアクセスと認証の設定を定義して管理します。

アクセス

Einstein 活動キャプチャを使用するには、Einstein 活動キャプチャを含んだ権限セットのいずれかにユーザーを割り当てる必要があります。詳細は、Salesforce ヘルプの「[Einstein 活動キャプチャを使用できるユーザーの選択](#)」を参照してください。

さらに、ユーザーの行動と取引先責任者を同期するには、システム管理者がそのユーザーを Einstein 活動キャプチャ設定に追加し、同期を有効にする必要があります。詳細は、Salesforce ヘルプの「[Einstein 活動キャプチャ設定の作成](#)」を参照してください。

組織プロビジョニング

 **メモ:** Hyperforce は Salesforce インフラストラクチャアーキテクチャであり、Amazon Web Services (AWS) などのパブリッククラウドプロバイダーで使用するために構築されています。Hyperforce は、Salesforce プラットフォームおよびアプリケーションを迅速かつ確実に世界中の場所に配信できるように、ハードウェアではなくコードで構成されています。Salesforce アプリケーションにコンプライアンス、セキュリティ、プライバシー、俊敏性、スケーラビリティを提供し、お客様にデータレジデンシーに関するより多くの選択肢や制御を提供します。

組織で Einstein 活動キャプチャが有効になると、Salesforce Hyperforce インフラストラクチャに対応する Einstein 活動キャプチャ組織が作成されます。プライマリ Salesforce データが保存される Salesforce ファーストパーティサーバーと Einstein 活動キャプチャデータが保存される Salesforce Hyperforce サーバー間のインテグレーションは暗号化された非公開鍵を使用して認証されます。Einstein 活動キャプチャが Hyperforce に対して API コールを実行するときには、鍵が必要です。

認証

ユーザーのメールおよびカレンダーアプリケーションの接続と認証の方法の選択肢は、使用するメールおよびカレンダーアプリケーションによって異なります。使用可能な接続方法や認証方法の詳細については、Salesforce ヘルプの「[Einstein 活動キャプチャの設定](#)」を参照してください。

いずれの場合でも、この接続によって Salesforce は次のことを実行できます。

- ユーザーのメールを参照、送信、削除、管理する。
- ユーザーの Google ドライブのファイルを参照する (該当する場合)。
- ユーザーの取引先責任者を管理する。
- ユーザーのカレンダーを管理する。

Microsoft Exchange サーバーで Einstein 活動キャプチャを使用する場合のネットワークアクセスの許可

Microsoft Exchange オンプレミスサーバー (2019、2016、または 2013) を使用して Einstein 活動キャプチャを設定する場合、必ず必要なネットワークアクセスを許可してください。

使用可能なインターフェース: Lightning Experience

Sales Cloud で使用可能なエディション: **Essentials Edition**、**Professional Edition**、**Enterprise Edition**、**Performance Edition**、および **Unlimited Edition**

Sales Cloud Einstein で有料オプションで使用可能なエディション: **Enterprise Edition**、**Performance Edition**、および **Unlimited Edition**

Inbox で使用可能なエディション: **Professional Edition**、**Enterprise Edition**、**Performance Edition**、および **Unlimited Edition**

Sales Engagement で有料オプションで使用可能なエディション: **Enterprise Edition**、**Performance Edition**、および **Unlimited Edition**

着信接続

IP または VPN によって Exchange Web Services (EWS) エンドポイントが制限されている場合は、許可リストに以下のアドレスを追加する必要があります。これにより、Exchange サーバーが確実に Salesforce に表示されます。

メモ: 2023 年後半より、Einstein 活動キャプチャサービスはパブリッククラウド用に構築された Salesforce のクラウドネイティブインフラストラクチャアーキテクチャである Hyperforce に移行されます。Hyperforce への移行前は、Einstein 活動キャプチャデータは Salesforce が管理するデータセンターに保存され、仮想プライベートクラウド (VPC) の背後にある Amazon Web Services (AWS) でホストされます。移行後は、Einstein 活動キャプチャのデータとサービスは以前と同じ地域内の Hyperforce と新しい AWS のパブリッククラウドインフラストラクチャに保存されます。

重要: Einstein 活動キャプチャのサービスやデータへのアクセスが中断されないように、両方の IP アドレスのセットを許可リストに追加してください。

	Salesforce インスタンスがヨーロッパ外にある場合	Salesforce インスタンスがヨーロッパ内にある場合
Hyperforce	<ul style="list-style-type: none">44.242.15.23244.236.183.129100.21.196.19654.200.249.13644.228.8.5635.165.2.200	<ul style="list-style-type: none">18.158.21.763.76.67.24318.158.241.923.76.75.6652.57.103.813.72.121.255

Microsoft Exchange サーバーで Einstein 活動キャプチャを
 使用する場合のネットワークアクセスの許可

	Salesforce インスタンスがヨーロッパ外にある場合	Salesforce インスタンスがヨーロッパ内にある場合
Hyperforce への移行前	<ul style="list-style-type: none"> • 54.200.130.205 • 54.218.59.121 • 34.210.91.105 • 34.210.91.103 • 44.224.62.36 • 52.35.129.120 • 54.71.145.62 • 35.166.120.106 • 44.224.71.98 • 52.35.232.62 • 54.68.117.123 • 52.26.6.102 • 35.163.187.73 • 52.36.92.175 • 34.210.91.106 • 34.210.91.104 • 35.166.17.212 • 34.216.184.173 • 34.210.91.108 • 34.210.91.107 	<ul style="list-style-type: none"> • 52.59.28.245 • 52.28.30.206 • 52.57.191.228 • 18.194.116.65 • 52.57.191.229 • 18.184.19.133 • 52.57.191.226 • 52.57.191.224 • 52.57.191.227 • 18.197.233.154 • 18.196.51.181 • 3.124.138.13 • 3.124.208.146 • 3.124.224.62 • 3.124.238.55

Salesforce の設定によっては、EWS または Einstein 活動キャプチャに固有でない Salesforce IP アドレスを許可リストに追加することが必要な場合があります。Salesforce の機能を引き続き利用するには、「許可する Salesforce IP アドレスおよびドメイン」を参照してください。


発信接続

Exchange の発信接続の制限がある場合、次のドメインへの発信アクセスを許可する必要があります。その後、Exchange に新しいメールと行動が届くと、プッシュ通知が Salesforce に送信されます。Einstein 活動キャプチャのサービスやデータへのアクセスが中断されないように、両方の Web フックエンドポイントのセットを組織に追加してください。

	Salesforce インスタンスがヨーロッパ外にある場合	Salesforce インスタンスがヨーロッパ内にある場合
Hyperforce	apiq-ews-webhook-c01.sfdc-lywfpd.svc.sfdcfc.net	apiq-ews-webhook-c01.sfdc-yzvd4.svc.sfdcfc.net
Hyperforce への移行前	ews-webhook-us1-prod.salesforceiq.com	ews-webhook-eu1-prod.salesforceiq.com

Exchange Web サービス (EWS) と API

Exchange から取引先責任者や行動にアクセスするために、Salesforce では EWS を介して次のコールを実行します。

 **ヒント:** 詳細は、[Microsoft のサポート Web サイト](#)にアクセスしてここで示すコールを検索してください。

EWS API コール	説明
CreateFolder	Exchange でフォルダーを作成します。
CreateItem	Exchange で取引先責任者や行動を作成します。Exchange の項目プロパティに Salesforce のレコード ID が追加されます。
DeleteItem	Salesforce のレコード ID に基づいて、取引先責任者や行動を削除します。
FindFolder	Exchange のフォルダーを検索します。
FindItem	特定の検索パラメーターに基づいて、取引先責任者や行動を検索します。
GetEvents	Exchange の行動に関する情報にアクセスします。
GetFolder	Exchange からフォルダーにアクセスします。
GetItem	Exchange の取引先責任者や行動に関する情報にアクセスします。
GetServerTimeZones	Exchange サーバーで利用可能なタイムゾーン定義の情報を返します。
SyncFolderItems	要求された項目を含む変更されたすべての取引先責任者と行動を返します。
UpdateItem	1 つまたは複数の取引先責任者または行動を新しい項目データで修正します。

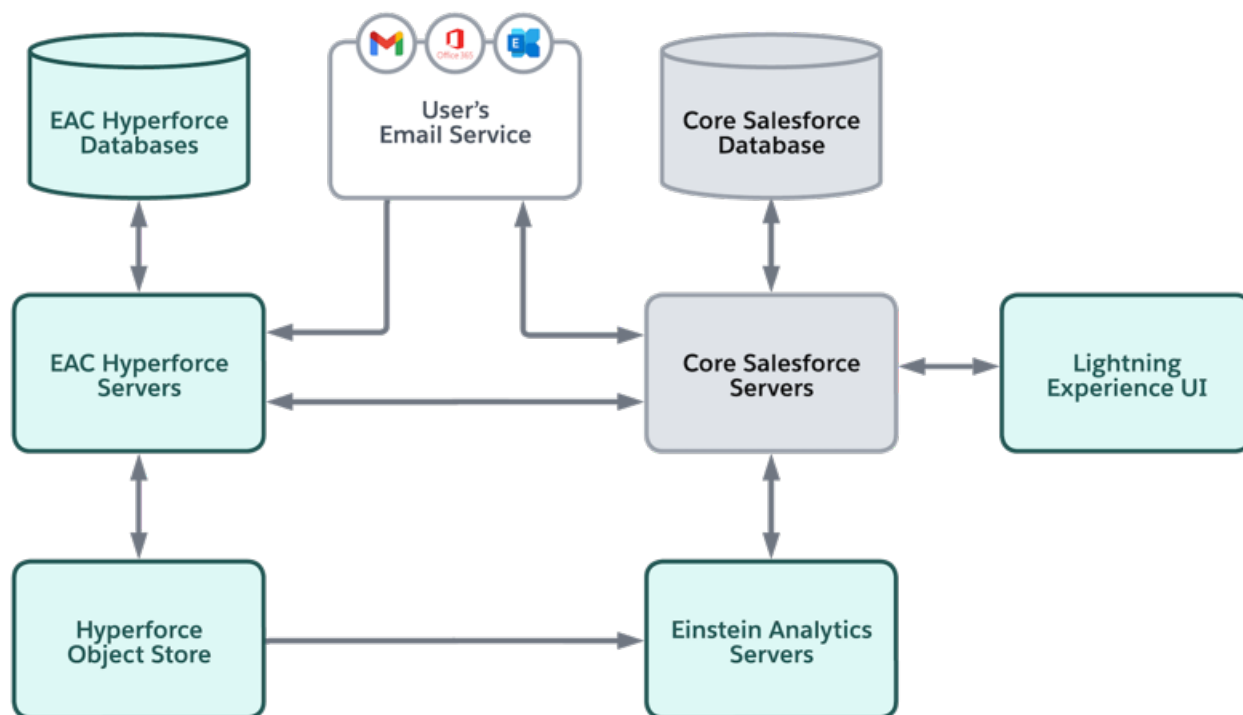
Einstein 活動キャプチャのデータフロー

メール、行動、取引先責任者のデータは接続済みアカウントから Salesforce Hyperforce プラットフォームインフラストラクチャを通じて Salesforce インスタンスに取り込まれます。

メール、行動、取引先責任者データが接続済みアカウントから Salesforce に移動すると、どのサービスを Salesforce に接続している場合でもデータはユーザーのメールアカウントから Salesforce への同じフローに従います。データは Salesforce ファーストパーティデータセンターでホストできる Salesforce コアアーキテクチャとパブリッククラウドプロバイダー (AWS など) 用に構築された Salesforce インフラストラクチャアーキテクチャである Hyperforce 間で渡されます。

まず、Salesforce Hyperforce サーバーがメールサービスからデータを取得します。次に、Salesforce コアサーバーが Hyperforce からメールと行動のデータを取得し、Salesforce の関連レコードの活動タイムラインに表示します。取引先責任者データも取得されて Hyperforce に保存され、Einstein メールインサイトなどの他の Salesforce 機能で使用されます。一部の行動および取引先責任者のデータは、Salesforce コアサーバーにも保存されます。最後に活動のメタデータが Salesforce コアサーバーに保存されます。

取引先責任者または行動が Salesforce から接続済みアカウントの方向にのみ移動する場合は、Hyperforce にデータが保存されません。



データの保存方法と使用方法

Einstein 活動キャプチャおよび Inbox でデータを取得、保存、使用方法に関する詳細を確認してください。

Inbox と Einstein 活動キャプチャは一緒にまたは別々に使用できます。ただし、これらの各機能がデータを取得、保存、使用方法は同じです。

Inbox または Einstein 活動キャプチャがデータの取得(データを収集するプロセス)を開始します。データは Salesforce Hyperforce インフラストラクチャに保存されます。一部のデータは Salesforce ファーストパーティデータセンターに保存できます。データは Inbox、Einstein 活動キャプチャ、またはその両方によって、割り当てられたユーザーに生産性向上ツールを提供するために使用されます。

[Salesforce Inbox](#) についての詳細を参照してください。

どのデータが取得されて保存され、そのデータがどのように使用されるかの詳細を確認します。

Hyperforce によって取得および保存される内容	追加の詳細	データの使用方法
カレンダーの行動	カレンダーのイベント(行動)には、ユーザーの接続済み Microsoft アカウントまたは Google アカウントから取得されたすべてのイベント(行動)データが含まれます。イベント(行動)の添付ファイルは含まれません。	Einstein 活動キャプチャではこのデータを使用して Salesforce カレンダーの活動タイムラインに行動が表示されます。 Inbox では [対応可能時間を挿入] 機能と [推奨コネクション] 機能にこのデータが使用されます。
取引先責任者の詳細	詳細には、連絡先(取引先責任者)のプロファイル画面(Gmail、Exchange、SalesCloud)に表示されるデータから取得された取引先責任者データが含まれます。	取引先責任者データは他の Salesforce 機能(Einstein メールインサイトなど)で使用されます。
メールアカウント	情報には、メールアドレス、サーバー、ドメインなど、ユーザーの接続済み Microsoft アカウントまたは Google アカウントに関する詳細が含まれます。	Einstein 活動キャプチャと Inbox では、このデータを使用してユーザーのメールアカウントが Salesforce に接続されます。

Hyperforce によって取得および保存される内容	追加の詳細	データの使用方法
メールの添付ファイル	<p>メールの添付ファイルのメタデータが含まれます。Einstein 活動キャプチャの場合、添付ファイル自体は保存されず、活動タイムラインにも表示されません。</p> <p>Inbox の場合、[後で送信] 機能を使用するとメールが送信されるまで添付ファイルが保存されます。</p> <p>Inbox のメール送信アクション中、Google サーバーまたは Exchange サーバーにメールメッセージ ID を渡して添付ファイルをメールの添付ファイルとして動的に取得できます。</p>	<p>現在、Einstein 活動キャプチャでは添付ファイルメタデータは使用されていません。</p> <p>Inbox では添付ファイルとメタデータは [後で送信] 機能に使用されます。</p>
メールヘッダーとメタデータ	<p>メールメッセージはユーザーの接続済み Microsoft アカウントまたは Google アカウントから取得されます。保存されるメール要素には、件名、送信者、宛先、CC、送信日が含まれます。</p>	<p>Einstein 活動キャプチャではこのデータを使用して Salesforce の関連レコードの活動タイムラインにメールが追加されます。</p> <p>Inbox と Einstein 活動キャプチャで使用可能なメールインサイトでは、このデータを使用して分類が作成されます。</p> <p>Inbox と Einstein 活動キャプチャで使用可能な推奨コネクションでは、このデータを使用して提案が生成されます。</p>
メール HTML 本文		<p>Einstein 活動キャプチャではこのデータを使用して Salesforce にメールが表示されます。また、このデータはメールインサイトの生成にも使用されます。</p>
パスワードと OAuth トークン	<p>OAuth の更新トークンとアクセストークンは、ユーザーの Google アカウントまたは Microsoft アカウントを Salesforce に接続するために使用されます。</p> <p>ユーザーが OAuth 2.0 を使用してアカウントを Salesforce に接続すると、ユーザーのパスワードは保存され</p>	

データの保存方法と使用方法

Hyperforce によって取得および保存される内容	追加の詳細	データの使用方法
	<p>ません。そのため、アカウントを Salesforce に接続した後にユーザーがメールのパスワードを変更しても Google または Microsoft に対して再認証する必要はありません。</p> <p>ユーザーがオンプレミスの Exchange メールアカウントを使用していて、パスワード認証が使用されている場合は、ユーザーのパスワードが保存されます。</p>	
Salesforce レコード	<p>レコードには、取引先責任者、リード、商談などのレコードのメタデータ、権限、項目、ページレイアウトなども含まれます。</p> <p>Inbox では、レコードのメタデータが最大24時間保存されます。Einstein 活動キャプチャでは、Salesforce のデータを削除するまで、レコードのメタデータが保存されます。Salesforce のレコードデータを削除すると、そのデータは Hyperforce サーバーからも削除されます。</p>	<p>Inbox モバイルアプリケーションでは、このデータを使用して、メールや行動に関連するレコードを参照するときのパフォーマンスが改善されます。</p> <p>メールに関連する Salesforce レコードに関連付けるため、Einstein 活動キャプチャでは、取引先責任者レコードやリードレコードからメールアドレスがコピーされて Hyperforce サーバーに保存されます。</p>
ユーザーの設定	<p>ユーザーの設定には、Inbox または Einstein 活動キャプチャから取得されるユーザーの個人設定が含まれます。</p>	

暗号化

Einstein 活動キャプチャでは、データセキュリティの保護にさまざまな暗号化方法が使用されます。

取得されたメールと行動では、Salesforce platform 暗号化は使用できません。代わりに、データはサーバー側の AES-256 暗号化を使用して保存時に暗号化されます。組織で Shield Platform Encryption が有効になっている場合、Salesforce の関連レコードの活動タイムラインに追加されたメールと行動には暗号化された取引先責任者とリードの名前が表示されます。

同期された行動と取引先責任者の転送データを保護するために、Salesforce では Transport Layer Security 技術 (TLS 1.2 以降) が使用されています。各トランザクションの認証では、アクセスが許可される前に、Salesforce の TLS セキュリティ要件を満たすために、受信データに TLS 設定が要求されます。

ユーザーのメールアカウントと Salesforce コアサーバー間および Salesforce コアサーバーと Hyperforce 間でアクセスされるすべてのデータの転送データを保護するために、Salesforce では Transport Layer Security 技術 (TLS 1.2 以降)、HTTPS、トークンベースの認証が使用されています。

取引先責任者や行動の同期には Shield Platform Encryption がサポートされていますが、いくつかの例外があります。詳細は、「Einstein 活動キャプチャの設定に関する考慮事項」を参照してください。

データプライバシー

Einstein 活動キャプチャには、ユーザーが希望する方法でデータを取得、保存、共有するためのいくつかの方法があります。

- 📌 **メモ:** 特に指定のない限り、以下の情報は取得されたデータにのみ適用され、同期されたデータには適用されません。

メールと行動の共有

ユーザーは、Einstein 活動キャプチャによって Salesforce に追加された活動が社内の他の Salesforce ユーザーとどのように共有されるかを制御できます。Einstein 活動キャプチャユーザーは、すべてのユーザーと共有するか、Chatter グループと共有するか、誰とも共有しないことができます。また、ユーザーは個々のメールや行動の共有を設定することもできます。システム管理者がデフォルトの共有設定を指定しますが、ユーザーは個人共有を設定することでそれを上書きできます。ユーザーの設定は、個別に定義された設定を除くすべてのメールと行動に適用されます。ただし、システム管理者がデフォルトの共有設定を [共有しない] に設定した場合、システム管理者はユーザーがそれを変更できないようにすることができます。その場合、ユーザーは独自の共有を設定できません。ユーザーは引き続き個々のメールおよび行動を共有したり、他のユーザーからの共有要求に応答したりできます。

Sales Cloud Einstein の機能により、共有されないメールを含む、Einstein 活動キャプチャで捕捉されたメールを使用して、ビジネス関連のインサイトが生成される場合があります。ただし、メールの内容と、メールに関連付けられたユーザー名は非表示になります。Einstein 商談インサイトおよび Einstein 自動取引先責任者は、この非公開メールを使用する Sales Cloud Einstein 機能です。

詳細は、Salesforce ヘルプの「[Einstein 活動キャプチャによって追加された活動の共有方法の制御](#)」を参照してください。

メールアドレスの除外

システム管理者とエンドユーザーは、メールアドレスやドメインを [除外アドレス] リストに追加することで、メールや行動が Salesforce に追加されないように除外できます。[除外アドレス] リストに追加された個人または会社に関連付けられたメールや行動は、関連する Salesforce レコードの活動タイムラインに追加されません。行動は、Salesforce と接続済みアカウントの間で同期されません。ただし、その場合でもメールと行動は Hyperforce に保存されます。

システム管理者が作成する組織の [除外アドレス] リストには、ドメインとメールアドレスを含めることができます。ユーザーはその他のメールアドレスを自分の [除外アドレス] リストに追加できます。

詳細は、Salesforce ヘルプの「[Einstein 活動キャプチャからのデータの除外に関する考慮事項](#)」を参照してください。

データの削除

システム管理者は顧客の要求に応じて Salesforce のメールと行動にある顧客の個人データを削除できます。活動が削除されると、その活動は Hyperforce サーバーと活動タイムラインから削除されます。活動はメールアドレスまたはユーザー名に基づいて削除できます。要求は 7 日後に処理され、要求の完了まで最大 1 か月かかる場合があります。

データはメールサービスからは削除されないため、それらの場所からもデータを削除することを検討してください。

詳細は、Salesforce ヘルプの「[Einstein 活動キャプチャおよび Salesforce Inbox により記録されたメールおよび行動の削除](#)」を参照してください。

機械学習からのデータの除外

システム管理者は顧客の要求に応じて顧客の個人データを機械学習モデルへの使用から除外できます。要求は 7 日後に処理され、要求の完了まで最大 1 か月かかる場合があります。

詳細は、Salesforce ヘルプの「[モデリングおよびデータ強化からのユーザーの個人データの除外](#)」を参照してください。

データの保存と保持

Einstein 活動キャプチャおよび Inbox では、一部のデータが Salesforce Hyperforce インフラストラクチャを使用して保存されます。

 **メモ:** 以下の情報は取得されたデータにのみ適用され、同期されたデータには適用されません。

Einstein 活動キャプチャデータは Salesforce Hyperforce サーバーに保存されるため、Salesforce データの割り当てには影響しません。このストレージに追加費用はかかりません。Einstein 活動キャプチャへのアクセスに使用されるライセンスによってデータ保持ポリシーが決まります。組織に1つ以上の Sales Cloud Einstein、Sales Engagement、または Inbox ライセンスがある場合、そのライセンスのデータ保持ポリシーが組織全体に適用されます。

新しい Microsoft アカウントまたは Google アカウントが Salesforce に接続されたときに、Salesforce Hyperforce サーバーによって取得され保存される履歴データの量は6か月分です(最大 50,000 件のメールと 5,000 件の行動)。

その後、Hyperforce サーバーはメールサービスからの通知登録を使用して新しいメールメッセージと行動を取得します。経時的に Hyperforce に保存されるデフォルトのデータ量は 6 ~ 24 か月分で、Einstein 活動キャプチャへのアクセスに使用されるライセンスによって異なります。システム管理者は Salesforce カスタマーサポートに連絡してストレージ容量を変更できます。

データ保持期間を過ぎると、データはシステムから削除されます。たとえば、データ保持期間が 24 か月の場合、24 か月より前に発生した活動は (Salesforce にいつ追加されたかには関係なく) Hyperforce サーバーと活動タイムラインから削除されます。Einstein 活動キャプチャによって取得された活動はアーカイブされません。

データ保持に関する完全な情報については、Salesforce ヘルプの「[Einstein 活動キャプチャのデータ保持](#)」を参照してください。